

後援会会員の皆様へ

共生システム理工学類長の入戸野修です。学類を代表し、皆様のお子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。



昨年度県内外の高校に本学類の特徴と教育カリキュラムを直接説明に伺いました。お陰様で福島大学としては初めての理工学系志望の学生194名を迎えることができました。私ども教員一同、心より歓迎するとともに、これからの4年間、大事に、また、厳しく教育支援していくことの責任の重さを改めて感じております。

とは言え、お子様たちの教育支援は大学の教員だけでできるものでもありません。みなさま保護者や家庭との交流を通して子どもたちの活動を見守って行く必要があると考えております。教育支援の充実のためには後援会の存在

は大変心強いものと感じております。

現在、理工学類の建物は、旧教育学部の半分程度の自然棟しかありませんが、本年7月には理工学類専用の研究実験棟の着工が始まり、来年3月末に完成、4月からは大きな新しい実験教室を使用しての実験・実習が開始される予定です。本学類の教育目標は、21世紀の科学技術を活用して、物事を人文社会科学的側面と理工学的側面の両面から捉えられる考え方と実践的な問題解決能力をしっかりと身に付けた人材を育成することです。今年度は9名のグループアドバイザーが20数名の学生の担任として、きめ細かく学生に接触し、勉学はじめ諸活動のアドバイスを行い、基礎学力の充実に努めることになっております。少人数対応で、行き届いた教育支援を実施するとともに、学生自らも将来の就職等を考えられるような教育体制をとって臨んでおります。大学院研究科につきましても、卒業時には引き続き本学でも研究を継続できるよう準備に入ったところでございます。

お子様から折に触れて大学の様子などをお聞きいただき、あるいは、後援会や大学の催し等を通じて、本学類の教育支援や研究をはじめとする諸活動を見守って下さい。生き生きした学生が育って行く教育・研究環境こそ本学類の発展に不可欠であると考えておりますので、どうぞ引き続き後援会の皆様のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。